



消防団ってなに？

「消防団」という言葉は知っているけど、「消防署」とはちがうの？消防団について説明します。

非常備消防

「非常備消防」聞きなれない言葉ですが、これと反対に「常備消防」と呼ばれるものがあります。常備消防とは、消防署や消防士といった消防業務を専門に行う行政機関やその職員を表す言葉です。

一方、「非常備消防」と呼ばれる消防団は、日常はほかに職業を持つ一般住民である団員で組織され、いざ火災などの災害時に出勤し、消火・防災活動にあたる機関です。出勤したときには、消防署と協力し、消火・防災活動を行います。

消防団の組織

この町消防団は、旧町村単位で3方面隊に別れ、各地域単位の分団や部・班により構成されています。

また、活動拠点として各地域に消防屯所があり、消防車をはじめ消防団活動に必要な資機材が整備されています。

消防団の役割

(地域防災力の向上)

大規模な災害が発生した場合、同時に各地で被害が発生するため、消防署・警察署・行政はすべてに対応することができません。そのため、地域の

ことは地域で解決する地域防災力の向上が必要となります。

東日本大震災では、住民の避難誘導、水門閉鎖、消火、救助、傷病者搬送、行方不明者捜索、瓦礫撤去、避難所運営支援、夜間警戒など、災害発生初期から長期にわたり、地域住民のために重要な役割を果たしてきました。

町でも、平成26年度の台風12号・11号災害では全団員を招集し、水防警戒、舟艇による人命救助、道路障害物除去、避難誘導、被災状況報告など、各地域で非常に大きな役割を果たしました。

今後も地元の状況などを熟知している消防団は、地域防災力の核として大きな力を発揮することが期待されます。

消防団って

どんな活動をするの？

火災現場への出勤をはじめその主な活動を紹介いたします。

災害活動

消防団活動の中でも最も重要なものです。

火災現場での消火活動、水害時の水防活動などに出勤し、災害現場の第一線で消防署の消防士と協力して災害の防除にあたります。

また災害時の避難誘導、行方不明者の捜索・救助、水難救助活動などにも出勤します。

予防活動

災害を未然に防ぐことも重要な活動です。

年末特別警戒による地域の火災予防、町民祭での警防活動も行っています。

訓練・教育活動

出勤時に迅速かつ適切な活動を行うためには、団員一人ひとりの消防技術のレベルアップが必要です。

消防団では、各種消防演習や水難救助訓練、防災訓練、自主防災組織訓練など、年数回の訓練を行っています。

また、新入団員には、消防学校で消防員として必要な知識や技術の習得をしていただきます。

そして地域の自主防災組織の訓練へも積極的に参加しています。



平成26年台風災害時の活動